プログラム
第 36 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会

＜1 日目第 1 会場＞

シンポジウム 1

第 1 会場（2F　Hall 1000）　7/8（土）9：15〜11：15

顎関節円板の復位・整位を再考する

座長：矢谷　博文（オーラルケアステーション本町歯科）
塚原　宏泰（医療法人社団宏礼会塚原デンタルクリニック）

1. 顎関節円板転位とその関連因子
   谷本幸太郎
   （広島大学大学院医系科学研究科歯科矯正学）

2. アプライアンス療法による Disc Repositioning の手法および適応症を再考する
   髙岡　亮太
   （大阪大学大学院歯学研究科クラウンブリッジ補綴学・顎口腔機能学講座）

3. 顎関節円板を意識して治療を行うのか？
   塚原　宏泰
   （医療法人社団宏礼会塚原デンタルクリニック）

4. どうする？急性ロック，間欠ロック，雑音・ひっかかり
   羽毛田　匡
   （羽毛田歯科医院）

5. 外科的な関節円板整位について再考する
   儀武　啓幸
   （東京医科歯科大学大学院顎顔面外科学分野）

OS1-1　顎関節円板整位症例の長期予後観察
Long-term prognosis observation of temporomandibular joint disc displacement case
矢野　圭介[1]，髙岡　亮太[2]，植田　陽[2]，石垣　尚一[2]
（[1]ヴェルデ矯正歯科，[2]大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野）

特別講演

第１会場（2F　Hall 1000）　7/8（土）11：20～12：20

座長：依田　哲也（東京医科歯科大学顎顔面外科学分野）

咀嚼機構の進化学的多様性

遠藤　秀紀
（東京大学総合研究博物館）

シンポジウム２

第１会場（2F　Hall 1000）　7/8（土）13：25～15：45

習慣性顎関節脱臼を再考する～疾患概念と自己血注射療法～

座長：岡本　俊宏（東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学講座顎口腔外科学分野）
高原　楠旻（東京医科歯科大学顎顔面外科学分野）

1. 閉口障害の病態分類を再考する
高原　楠旻
（東京医科歯科大学顎顔面外科学分野）

2. 習慣性顎関節脱臼の各種治療法と選択について
川上　哲司
（奈良県立医科大学口腔外科学講座）

3. 習慣性顎関節脱臼に対する自己血注射療法の文献的検討
岡本　俊宏
（東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学講座顎口腔外科学分野）

4. 習慣性顎関節脱臼患者に対する顎関節腔ならびに周囲組織への自己血注射療法
吉田　博昭
（大阪歯科大学歯学部口腔外科学第一講座）

OS2-1　開口訓練と上関節腔洗浄療法により改善した閉口障害の１例
A case of mouth closure disorder improved by mouth-opening exercise and arthrocentesis
佐久間朋美，高原　楠旻，儀武　啓幸，依田　哲也
（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野）

OS2-2　関節円板動態に起因する閉口末期の閉口障害症例に関する検討
A study on a case of late-stage mouth closure disorder caused by articular disk dynamics
角倉可奈子[1,2]，今井　英樹[1]，津島　文彦[2]
（[1]日立製作所ひたちなか総合病院歯科口腔外科，[2]東京医科歯科大学顎口腔腫瘍外科学分野）

OS2-3　OK－432（ピシバニール）を用いた習慣性顎関節脱臼治療
Treatment of recurrent temporomandibular joint dislocation with OK-432（Picibanil）administration
松下　和裕
（北海道大学病院高次口腔医療センター顎口腔機能治療部門）

OS2-4　習慣性顎関節脱臼に対する自己血注射療法の臨床的検討
Clinical study of autologous blood injection for treatment of recurrent TMJ dislocation
山本育功美[1,2]，川上　哲司[1,2]，上田　順宏[2]，木村　健人[4]，松末友美子[2,3]，桐田　忠昭[2]
（[1]社会医療法人田北会田北病院歯科口腔外科，[2]奈良県立医科大学口腔外科学講座，[3]医療法人郁慈会服部記念病院歯科口腔外科，[4]豊中本町歯科クリニック）

イブニングシンポジウム

第１会場（2F　Hall 1000）　7/8（土）16：00～17：30

DC/TMD と学会病態診断を再考する
―ここがおかしい DC/TMD！！　日本顎関節学会はこう考える―

座長：依田　哲也（東京医科歯科大学顎顔面外科学分野）
小見山　道（日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学講座）

矢谷　博文
（オーラルケアステーション本町歯科）

窪木　拓男
（岡山大学学術研究院医歯薬学域インプラント再生補綴学分野）

小林　馨
（鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座）

島田　淳
（医療法人社団グリーンデンタルクリニック）

＜1 日目第２会場＞

ランチョンセミナー１

第２会場（2F　Hall 300）　7/8（土）12：30～13：20

座長：横江　義彦（洛和会音羽病院京都顎変形症センター）

顎変形症治療における顎関節症専門医の役割を考える
大井　一浩
（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科外科系医学領域顎顔面口腔外科学分野）

顎関節円板整位術の適応と実際
高原　楠旻
（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野）
協賛：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

若手部会企画シンポジウム

第 2 会場（2F　Hall 300）　7/8（土）13：25〜15：45

みんなで探そう研究の種！

座長：後藤田章人（北海道大学病院高次口腔医療センター顎関節治療部門）
石井　武展（東京歯科大学歯科矯正学講座）

1. 顎関節症治療における，開口訓練の強度に関したランダム化比較試験
石山　裕之
（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野）

2. Evaluation and anatomical study of myogenic and tendinous hyperplasia of the masticatory muscles using 3D CT：Approach to clinical and imaging diagnosis of myogenic and tendinous hyperplasia of the masticatory muscles
塩崎　一成
（鶴見大学歯学部解剖学講座）

3. 顎関節症の画像所見，診断に関して〜Deep learning を用いた検討
野澤　道仁
（大阪歯科大学歯学部歯科放射線学講座）

4. 変形性顎関節症における軟骨破壊機構の解明と高分子ヒアルロン酸の作用について
中尾　友也
（北海道医療大学歯学部口腔構造・機能発育学系歯科矯正学分野）

5. 骨格性下顎後退症例に馬蹄形併用 Le Fort I型骨切り単独で対応した場合の下顎頭形態変化の解析
三次　翔
（九州歯科大学生体機能学講座顎顔面外科学分野）

＜展示会場＞

認定医セミナー

展示会場（2F　第 1 会場前　ホワイエ）　7/8（土）〜7/9（日）

認定医を取得したい方へのサポート

塚原　宏泰
（医療法人社団宏礼会塚原デンタルクリニック）

＜1 日目ハンズオン会場＞

ハンズオンセミナー

ハンズオン会場（3F　Hall 1000　スタッフルーム大）　7/8（土）9：00〜15：45

講師：山口　泰彦（北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野冠橋義歯補綴学教室）

ウェアラブル筋電計による睡眠時歯科筋電図検査

インストラクター：
岡田　和樹
（医療法人社団卸町歯科医院）
三上　紗季
（北海道大学病院高次口腔医療センター顎関節治療部門）
前田　正名
（北海道大学病院クラウン・ブリッジ歯科）
石丸　智也
（北海道大学病院クラウン・ブリッジ歯科）
馬場　政典
（北海道大学大学院歯学院冠橋義歯補綴科）

＜2日目第1会場＞

シンポジウム 3

第 1 会場（2F　Hall 1000）　7/9（日）9：00〜11：05

顎関節症と咬合を再考する

座長：山口　泰彦（北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野冠橋義歯補綴学教室）
藤澤　政紀（明海大学歯学部機能保存回復学講座クラウンブリッジ補綴学分野）

1. TMDs；歴史的変遷を辿る
   大久保昌和
   （日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座）

2. 顎関節症に伴う咬合変化
   後藤田章人
   （北海道大学病院高次口腔医療センター顎関節治療部門）

3. 顎関節症と咬合因子：症例を通して考える
   安陪　晋
   （徳島大学大学院医歯薬学研究部総合診療歯科学分野）

4. コホート調査からみた顎関節症と咬合因子
   藤澤　政紀
   （明海大学歯学部機能保存回復学講座クラウンブリッジ補綴学分野）

OS3-1　臼歯部咬合不全を呈した顎関節症の３症例
Three cases of temporomandibular joint disorders with posterior malocclusion
羽毛田　匡
（羽毛田歯科医院）

日本歯科衛生士会共催・臨床医の会合同シンポジウム

第１会場（2F　Hall 1000）　7/9（日）13：35〜15：55

歯科衛生士と行う顎関節症病態別治療

座長：吉田　直美（公益社団法人日本歯科衛生士会会長）
佐藤　文明（佐藤歯科医院今戸クリニック）

1. 疾患教育・病態説明
井上　庸子
（福岡医療短期大学歯科衛生学科）
日髙　玲奈
（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科地域・福祉口腔機能管理学分野）

2. 疼痛関連顎関節症
原　節宏
（日本歯科大学附属病院顎関節症診療センター）
若槻　聡子
（日本歯科大学附属病院歯科衛生士室顎関節症診療センター）

3. 復位性顎関節円板障害
島田　淳
（医療法人社団グリーンデンタルクリニック）
兜森　彩日
（佐藤歯科医院今戸クリニック）

4. 非復位性顎関節円板障害・変形性顎関節症
藤田　宏人
（医療法人社団おおつき会大槻歯科医院）
寺西　稚
（社会医療法人田北会田北病院）

＜2 日目第 2 会場＞

シンポジウム 4

第 2 会場（2F　Hall 300）　7/9（日）9：00～10：40

咀嚼筋腱・腱膜過形成症を再考する

座長：依田　哲也（東京医科歯科大学顎顔面外科学分野）
佐藤　　毅（埼玉医科大学医学部口腔外科学教室）

1. 基礎研究の成果をもとに咀嚼筋腱・腱膜過形成症を再考する
佐藤　毅
（埼玉医科大学医学部口腔外科学教室）

2. 咀嚼筋腱・腱膜過形成症の画像診断の現状と可能性
五十嵐千浪
（鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座）

3. 顎口腔機能からみた咀嚼筋腱・腱膜過形成症の評価
藤井　智子
（大阪歯科大学歯学部口腔外科学第二講座）

4. 当科における咀嚼筋腱・腱膜過形成症に対する治療戦略
中岡　一敏
（鶴見大学歯学部口腔顎顔面外科学講座）

OS4-1　咀嚼筋腱・腱膜過形成症患者における CT 画像所見に関する検討
A study on CT findings in patients with masticatory muscle tendon aponeurosis hyperplasia
伊東　宏和，若江　五月，枝　卓志，中島　和則，尚原　弘明，小林　馨，五十嵐千浪
（鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座）

OS4-2　当科における咀嚼筋腱・腱膜過形成症の臨床的検討
Clinical study of masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia
蒲原　麻菜，合島怜央奈，檀上　敦，久保田英朗，山下　佳雄
（佐賀大学医学部歯科口腔外科学講座）

OS4-3　咀嚼筋腱・腱膜過形成症の画像による評価と手術ステップによる開口域の推移の検討
Evaluation of masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia by imaging and transition of range of opening by surgical steps
疋田　光波[1]，篠塚　啓二[1]，西尾　健介[2]，松尾　邦史[3]，本田　和也[3]
（[1]日本大学歯学部口腔外科学第1講座，[2]日本大学歯学部歯科補綴学第1講座，[3]日本大学歯学部歯科放射線学講座）

覚道健治賞受賞講演

第２会場（2F　Hall 300）　7/9（日）10：45〜11：10

座長：五十嵐千浪（鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座）

顎関節症患者の臨床症状に対する咀嚼筋痛，顎関節円板動態異常，変形性顎関節症の相対的影響度

髙岡　亮太
（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野）

ランチョンセミナー２

第２会場（2F　Hall 300）　7/9（日）12：40〜13：30

座長：依田　哲也（東京医科歯科大学顎顔面外科学分野）

顎関節人工関節全置換術の実際

儀武　啓幸
（東京医科歯科大学大学院顎顔面外科学分野）

協賛：グンゼメディカル株式会社/ジンマー・バイオメット合同会社

診療ガイドライン発表

第２会場（2F　Hall 300）　7/9（日）13：35〜14：05

座長：松香　芳三（徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野）
西山　　暁（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科総合診療歯科学分野）

1. 顎関節症診療ガイドラインについて１：作成目的からエビデンスの作成まで
   鈴木　善貴
   （徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野）

2. 顎関節症診療ガイドラインについて２：推奨文と推奨の判断の理由
   湯浅　秀道
   （独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター歯科口腔外科）

顎関節外科研究会セッション

第２会場（2F　Hall 300）　7/9（日）14：10〜16：10

運動器疾患としての顎関節疾患とその治療/機能回復を「再考」する

座長：儀武　啓幸（東京医科歯科大学大学院顎顔面外科学分野）
村上賢一郎（赤穂市民病院歯科口腔外科）

1. 顎関節症の自然経過/初期治療で改善の兆候が見られない時に運動器疾患としての治療の選択肢は？
   大井　一浩
   （金沢大学大学院医薬保健学総合研究科外科系医学領域顎顔面口腔外科学分野）

2. 最近の文献（Network Meta-analysis）から見る「顎関節症/変形性顎関節症に対する保存療法 vs 低侵襲を含む外科的介入の成績」について
   村上賢一郎
   （赤穂市民病院歯科口腔外科）

3. 口腔顔面痛専門医の顎関節症治療のこれまでとこれから，特に運動器疾患としての取り組み
   和嶋　浩一
   （元赤坂デンタルクリニック）

4. 顎関節症/顎関節疾患の外科的治療のこれまでとこれから
   高橋　哲
   （一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北福島病院口腔外科）

5. 顎関節構造の再建と機能回復を目指して
   儀武　啓幸
   （東京医科歯科大学大学院顎顔面外科学分野）